

麻薬性鎮痛薬の使用に伴う難治性便秘治療薬

米国プロジェニックス社とライセンス契約を締結

当社は本年10月、米国プロジェニックス社と麻薬性鎮痛薬の使用に伴う難治性便秘の治療薬「メチルナルトレキソン臭化物 (methylnaltrexone bromide、以下、MNTX)」の皮下注射剤に関するライセンス契約を締結しました。

この契約により、当社はMNTXの皮下注射剤を、日本で独占的に開発・販売する権利を取得しました。

当社は、プロジェニックス社に対して契約締結時に150万ドルを一時金として支払うと共に、開発の進捗に応じた一時金として最大で200万ドルを支払います。また、販売額の目標達成に応じた一時金と売上に応じたロイヤルティをプロジェニックス社に支払います。

なお、当社はMNTXの静脈注射剤および経口剤など、欧米で開発が進められている他の剤型についても、日本において独占的に開発・販売する権利について優先的に交渉できるオプション権を有しております。

麻薬性鎮痛薬は、末期の癌性疼痛に対して主に使用されておりますが、その使用に伴う

難治性便秘で苦しむ患者さんは多く、この便秘による患者さんの体力消耗への対応に医療現場では苦慮されています。MNTXは、末梢の μ オピオイド受容体に拮抗し、麻薬性鎮痛薬の鎮痛効果に影響を及ぼすことなく、麻薬性鎮痛薬の使用に伴う難治性の便秘を緩和します。

当社としては、麻薬性鎮痛薬の使用に伴う難治性便秘で困っておられる日本の患者さんに、MNTXを1日でも早くお届けできるよう、本剤の開発をスピーディーに進めていきたいと考えております。

(参考)

本年4月、米国食品医薬品局 (FDA) はRELISTOR® (methylnaltrexone bromide) 皮下注射剤を、「既存の下剤による治療が十分でない末期癌患者等の緩和ケア患者における麻薬性鎮痛薬使用に伴う難治性便秘の治療」の適応症で承認しました。本年6月より、プロジェニックス社とその欧米のパートナーであるワイス社がMNTXの皮下注射剤を「RELISTOR®」の商品名で、米国にて販売しております。また本剤は、本年7月に欧州医薬品審査庁 (EMA) で承認を受け、欧州連合内の27の加盟国およびアイスランド、ノルウェー、リヒテンシュタインで承認されております。